

## 福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

震災から10年が経過しましたが、宮農再開は道半ばであります。官民合同チームでは、これからも農業者様の声を伺い、農業者様に寄り添って、宮農再開の拡大に向けた様々なご支援を続けてまいります。（支援内容は裏面をご覧ください）

宮農再開され、相双地域で頑張られている農業者様や地域の話題を紹介いたします。



### JA福島さくら様と連携した新たな「担い手」の確保へ！（浪江町）

宮農再開に向けて復興が進む浪江町ですが、担い手不足の問題を解決すべく、JA福島さくら様と連携して、**群馬県からの農業者様の参入をご支援**しました。

(有)青高(せいこう)ファーム様と(株)群馬電機工業様は、群馬県渋川市を中心に長ネギを生産する農業法人。浪江町とJA様との連携に官民合同チームも参加。地域の農業者様の農地のマッチングを支援。今春、浪江町の川添地区の農業者様と協力して長ネギの生産を開始しました。将来的には作付面積100ヘクタール規模の**全国一の長ネギ産地化を目指**します。



(有)青高ファーム専務の狩野正好様  
群馬県での長ネギ収穫の様子



### プレミアムな羊を育てます！（葛尾村）

(株)牛屋の吉田健様は、避難指示解除後、ご夫妻で葛尾村に同社を設立、新たに畜舎を建て和牛肥育を開始しました。同社では、和牛の他、独自のノウハウで羊を飼育し、「メルティーシーブ」というブランド羊肉を生産。この羊肉は葛尾村のふるさと納税返礼品でも取り扱われています。更に羊肉生産をどう発展させていくか、相双機構も検討に参加させていただき、弘前大学や畜産技術協会を繋ぎ、

**りんごジュース絞りを飼料に使った、高付加価値な羊肉生産の実証**※を行っています。（※JRA畜産振興事業に採択）

吉田様も参加される**畜産セミナーを、令和3年5月28日（金）13:00～葛尾村民会館で開催**します。

是非ご参加を。



吉田様とプレミアム育成中の羊たち



### 広野町のみかんジュースを全国に！

広野町の二ツ沼直売所組合長でご自身も農業を営む塩史子様は地元のみかんを全国にPRしたいと考えていました。広野町は以前からみかん栽培が盛んでした。塩様は収穫されたみかんの有効活用のため、100%果汁のみかんジュースを販売することを考え、平成28年から**二ツ沼公園直売所で販売を開始**いたしました。さらには「**広野のみかん**」を全国PRするため、**地元のJヴィレッジでの販売**にチャレンジし、官民合同チーム支援のもと令和3年3月からおみやげコーナーで販売が開始されました。

今後も広野町の特産品としてみかんジュースを販売します。商品をお見かけの際は是非ご購入を検討ください。



塩史子様（写真左）とJヴィレッジのおみやげコーナー（写真右）

## 福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）とは？

被災された事業者を個別訪問し、相談型のご支援を行うため創設された組織です。国、福島県、福島相双復興推進機構の三者で福島相双復興官民合同チームを構成しています。

そのうち、**営農再開グループ**では、東北農政局、福島県、福島相双復興推進機構の三者による農業者の個別訪問を実施しています。

**個別訪問**：営農再開グループ員が農業者様に個別訪問し、営農再開に向けての課題や農地利用予定等について、お話を伺います。

対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、双葉町、浪江町、飯舘村

対象となる方：震災時に上記市町村で農業を行われていた方  
今後上記市町村で新たに農業を行う方



お伺いした内容をふまえて、ご要望に応じた支援を無料で行います

### 農産物販売の悩みに対応します！

「生産拡大したいが販売先がない」「震災後下落した価格を回復させたい」  
このようなお悩みには、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。

### 農業技術の悩みに対応します！

「どの作物を栽培すべきかわからない」  
「作物がうまく栽培できない」  
このようなお悩みには、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

### 制度活用時の悩みに対応します！

「補助金の申請方法がわからない」  
「農業法人設立の進め方がわからない」  
このようなお悩みには、訪問員がアドバイスを行います。

## その他の取組

### 地域・集落での営農再開に向けた取組の支援

今後の担い手不足に対応するため、地域の中核として営農を続ける農業者の方への農地集積が円滑に行われるよう、市町村やJAと連携して農地のマッチングなどの支援活動を実施しています。

### 畜産の再開に取り組む事業者のネットワーク構築

震災によって失われた畜産事業者のネットワークや耕畜連携を復活するため、官民合同チームが各種企画（セミナーや先進地見学会、現地検討会等）を実施しています。

### 農地利用の意向確認

所有している農地の今後の利用意向についてもお聞きしています。農地貸出希望の方につきましては、今後市町村や担い手の方と連携し、貸出についてサポートさせていただきます。

## 福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117

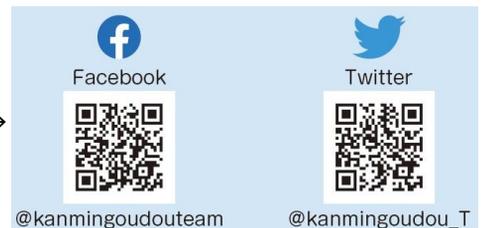
（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <http://www.fsrt.jp>

公式SNSページはこちら→



原子力災害対策本部



@kanmingoudouteam

@kanmingoudou\_T